

(添付資料)

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、企業の公器性をうたい、企業市民として社会に貢献することを理念とした〈社憲〉を経営の根幹に据えております。

- | | | |
|--------|---------------------------------------|-------------|
| 〈社憲〉 | 「われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう」 | |
| 〈経営理念〉 | ・顧客満足の最大化 | ・たえざるチャレンジ |
| | ・株主からの信頼重視 | ・個人の尊重 |
| | ・良き企業市民の実践 | ・倫理性の高い企業活動 |

これらの理念を基盤として、株主、投資家、顧客、取引先、地域社会、社員などさまざまなステークホルダーの皆様にご満足いただける企業価値の向上を目指しており、収益を伴った持続的な成長を実現させるとともに、経営情報の開示など透明性を高める経営を行なってまいります。

(2) 利益配分に関する基本方針

利益配分については、財務体質の強化を続けながら適正に還元していくことが、株主の皆様のご信頼を得るうえで重要と考えております。そのため、1株当たりの配当額のみならず、株主資本に対する配当率を考慮する配当政策を基本にしつつ、将来への投資にたえられる財務体質を維持し、企業価値を高めるため、株主資本に対する利益率向上に努めております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、平成12年度より、「選択と集中の継続実施による企業価値の向上」を主題とした第8次中期経営計画を展開しております。この中期計画は、企業価値の向上を目指すとともに、“利益”を過去最高水準へ復帰させることに最注力することをその内容としております。将来の成長のための新規・拡大分野への投資を全社的視点から行ないつつ、各カンパニーによる収益最大化を徹底追求するものであります。

また、21世紀を迎えるにあたり“グランドデザイン2010プロジェクト”を設置し、2010年までの10年間を見据えた長期ビジョンの立案を進めております。このビジョンに基づき、10年後のオムロングループのありたい姿とそこに至る道筋を、改めて社内外に明示していきます。

(4) 経営管理組織の整備に関する施策

平成11年度に、「カンパニー制」・「執行役員制」を導入しましたが、人事・経理など本社機能のカンパニーへの移管による分権の徹底や、短期および中期計画での具体的業績目標を明確にし、経営とカンパニー間でのコミットメント運営を徹底させるなど、その定着と強化を進めております。

また、平成13年度を目途に取締役支援スタッフとしてのグループ本社への構築を目指しております。これはグローバル市場経済の中で揺るぎないオムロングループの実現に向けた戦略立案・推進の強化を目指しており、社外有識者による「取締役会」支援としてのアドバイザリーボードの設置に引き続き、グループ経営の強化に向けた整備を進めております。

(5) 会社の対処すべき課題

平成11年度は、収益向上への諸施策の成果とともに一部業界の好転を受け、平成10年度に対して大幅な増益を達成することができました。しかしながら、その利益水準は十分とは言えず、より高い水準を目指すべきものと考えております。

グローバル化、IT化、産業構造の変化などの厳しい外部環境において、市場による企業選別が進むなか、持続的かつ強固な収益構造を早急実現すべく、第8次中期経営計画において構造改革を加速していきます。

(6) 目標とする経営指標

当社ならびにグループ各社は、第8次中期経営計画最終年度の平成14年3月期において利益を過去最高水準に復帰させ、株主資本利益率を6%台に引き上げるべく努力していきます。